【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公表番号】特表2018-508538(P2018-508538A)
【公表日】平成30年3月29日(2018.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2018-012
【出願番号】特願2017-546888(P2017-546888)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/74　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/78　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　29/04　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　17/04　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　27/16　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　27/50　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/24　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/16　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/20　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/74
Ａ６１Ｋ　31/78
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｌ　29/04　１００
Ａ６１Ｌ　31/04　１１０
Ａ６１Ｌ　17/04
Ａ６１Ｌ　27/16
Ａ６１Ｌ　27/50　３００
Ａ６１Ｌ　15/24　１００
Ｃ１２Ｎ　1/16　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ　1/20　Ａ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成31年3月1日(2019.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バイオフィルムに有害な影響を与えるための組成物であって、骨格構造内にエチレン性不飽和モノマーの第一の重合残基を含む共重合体の有効量を含み、前記第一の重合モノマー残基が共有結合部分を含み、前記共有結合部分が、（ｉ）当該骨格構造からペンダントを提示し、さらに（ｉｉ）陽イオン官能基又はその前駆官能基を含む、前記組成物。
【請求項２】
共重合体がさらに、その骨格構造内にエチレン性不飽和モノマーの第二の重合残基を含

み、前記第二の重合モノマー残基が、当該骨格構造からペンダントを提示する共有結合疎水性部分を含む、請求項1に記載の組成物。
【請求項３】
陽イオン官能基又はその前駆官能基が窒素又はリン原子を含む、請求項1または2に記載の組成物。
【請求項４】
陽イオン官能基又はその前駆官能基が、第一級アミン、第二級アミン、第三級アミン、第四級アミン、及び第四級ホスフィンから選択される、請求項1から3のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項５】
陽イオン官能基又はその前駆官能基がグアニジノ及びアミジノから選択される、請求項1から4のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項６】
共有結合疎水性部分がアルキル又はアリール部分から選択される、請求項2に記載の組成物。
【請求項７】
バイオフィルムが、黄色ブドウ球菌（Staphylococcus aureus）、スタフィロコッカス・エピデルミジス（Staphylococcus epidermidis）、コアグラーゼ陰性スタフィロコッカス、ストレプトコッカス属種（Streptococcus sp.）、結核菌（mycobacterium tuberculosis）、クレブシエラ・ニューモニアエ（Klebsiella pneumoniae）、緑膿菌（Pseudomonas aeruginosa））、カンジダ属種（Candida sp.）及びカンジダ・アルビカンス（Candida albicans）から選択される、1つ以上の微生物を含む、請求項1から6のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項８】
バイオフィルムが多重微生物性バイオフィルムである、請求項1から7のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項９】
共重合体がグアニル化ポリメタクリレートである、請求項1から8のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１０】
共重合体が、2-グアニジノエチルメタクリレート（2-GEMA）及びメチルメタクリレート（MMA）のランダム共重合体である、請求項1から9のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１１】
バイオフィルムが、カンジダ・アルビカンス及び黄色ブドウ球菌から選択される微生物の一方又は両方を含む、請求項1から10のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１２】
バイオフィルムが当該組成物に暴露された結果として、当該バイオフィルムの部分を形成する微生物が殺滅される、請求項1から11のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１３】
対象動物上に又は対象動物内に存在するバイオフィルムに有害な影響を与えるための組成物であって、有効量の共重合体を含み、当該共重合体が、その骨格構造内にエチレン性不飽和モノマーの第一の重合残基を含み、前記第一の重合モノマー残基が共有結合部分を含み、前記共有結合部分が、（i）当該骨格構造からペンダントを提示し、さらに（ii）陽イオン官能基又はその前駆基を含む、前記組成物。
【請求項１４】
対象動物内又は対象動物上のバイオフィルムの存在に随伴する、前記存在を特徴とする、又は前記存在によって引き起こされる感染性疾患、症状又は異常の治療のための組成物であって、有効量の共重合体を含み、前記共重合体がその骨格構造内にエチレン性不飽和モノマーの第一の重合残基を含み、前記第一の重合モノマー残基が共有結合部分を含み、前記共有結合部分が、（i）当該骨格構造からペンダントを提示し、さらに（ii）陽イオ

ン官能基又はその前駆官能基を含む、前記組成物。
【請求項１５】
バイオフィルムが付着した医療器具に対する抗菌薬ロック療法のための組成物であって、骨格構造内にエチレン性不飽和モノマーの第一の重合残基を含む共重合体の有効量を含み、前記第一の重合モノマー残基が共有結合部分を含み、前記共有結合部分が、（ｉ）当該骨格構造からペンダントを提示し、さらに（ｉｉ）陽イオン官能基又はその前駆官能基を含む、前記組成物。
【請求項１６】
抗菌薬ロック療法で使用される抗菌薬ロック溶液であって、前記溶液が、骨格構造内にエチレン性不飽和モノマーの第一の重合残基を含む共重合体を含み、前記第一の重合モノマー残基が共有結合部分を含み、前記共有結合部分が、（ｉ）当該骨格構造からペンダントを提示し、さらに（ｉｉ）陽イオン官能基又はその前駆官能基を含む、前記溶液。